

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよく読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながらおこなってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働かにくいいため、ご使用できません。
- 変速ケーブル(SIS-SP41)には専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- サイクルコンピューターはSM-6501が対応します。SM-6501の取扱説明書もあわせてお読みください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6J40B-002

ST-R500

シマノ・トータル・インテグレーション

SHIMANO
TOTAL
INTEGRATION

シマノ・トータル・インテグレーション特徴

ブレーキレバー本来のタテ方向の動きに加え、同レバーをヨコ方向に操作して変速をおこなうデュアル・コントロール・レバーを実現。手を離すことなく簡単に変速が行えます。

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シフティングレバー	ST-R500	
	フロント	リア
アウターケーブル	SIS-SP41	
スピード	16	24
フロントディレイラー	FD-3300	FD-3303
フロントチェーンホイール	FC-3300	FC-3303
ボトムブラケット	BB-UN40	
リアディレイラー	RD-3300-SS	RD-3300-GS
フリーハブ	FH-3300	
カセットスプロケット	CS-HG50-8	
チェーン	CN-HG50	
B.B.ガイド	SM-SP17	

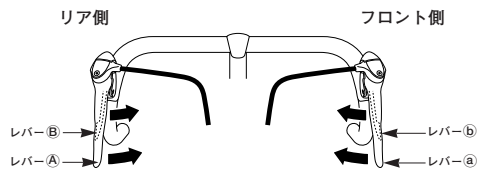
* 取扱説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
〒590-8577 堺市南区桜松町1丁目77番地

操作変速方法

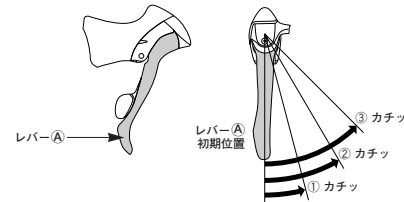


レバー A: リア小ギアから大ギアへの変速
レバー B: リア大ギアから小ギアへの変速
レバー A: フロント小ギアから大ギアへの変速
レバー B: フロント大ギアから小ギアへの変速

各レバーとも、操作後に指を離すと必ずレバー初期位置に戻ります。

リア側レバーの操作

●レバー Aリア小ギアから大ギアへの変速
レバー A には①、②、③の3ヶ所にカッチというあたりがあります。

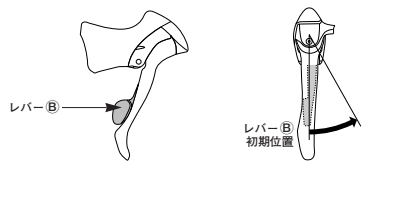


①: 1段目だけ変速
例: 3段目から4段目へ

②: 2段分一気に変速
例: 3段目から5段目へ

③: 3段分一気に変速
例: 3段目から6段目へ
ご注意
5段目から8段目への3段分一気に変速はできません。

●レバー Bリア大ギアから小ギアへの変速
レバー B を1回押してはなすと、大ギアから小ギアへ1段変速します。



例: 4段目から3段目へ

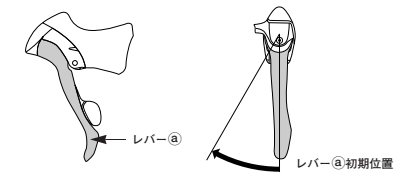
操作時の注意

レバー A 操作時には、レバー B も共に動きますが、レバー B には押す力を加えないように注意してください。また、レバー B 操作時には、レバー A を押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかけると変速しません。

RD-3300-SS / RD-3300-GSの取扱説明書もあわせてお読みください。

フロント側レバーの操作 (FD-3300)

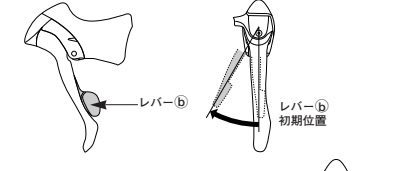
●レバー Aフロント小ギアから大ギアへの変速



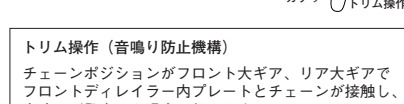
レバー A の操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分 (X) だけ再度レバー A を操作 (X') して変速を完了します。



●レバー Bフロント大ギアから小ギアへの変速



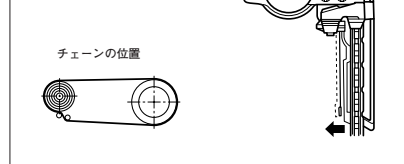
レバー B を操作すると、まずトリム操作あたりがカッチとなり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。



トリム操作 (音鳴り防止機構)

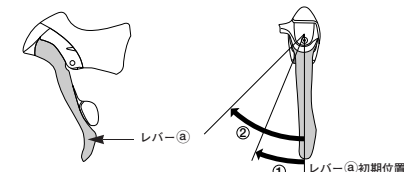
チェーンポジションがフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合には行います。

レバー B を軽く押す (カッチとあたりがある) とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



フロント側レバーの操作 (FD-3303)

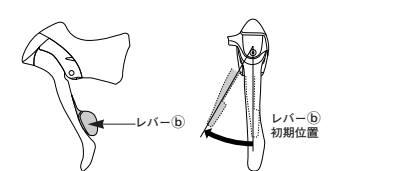
●レバー Aフロント小ギアから大ギアへの変速



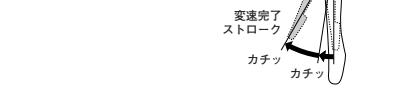
レバー A の操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分 (X) だけ再度レバー A を操作 (X') して変速を完了します。



●レバー Bフロント大ギアから中間ギアへの変速



レバー B を操作すると、まずトリム操作あたりがカッチとなり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。



操作時の注意 (FD-3300 / FD-3303)

レバー A 操作時には、レバー B も共に動きますが、レバー B には押す力を加えないように注意してください。また、レバー B 操作時には、レバー A を押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかけると変速しません。

FD-3300 / FD-3303の取扱説明書もあわせてお読みください。

取付け

■ ハンドルバーへの取付け

ブラケット部外側の取付けナットで固定します。ブラケットカバーをめくり、5mmアレンキーで締め付けます。



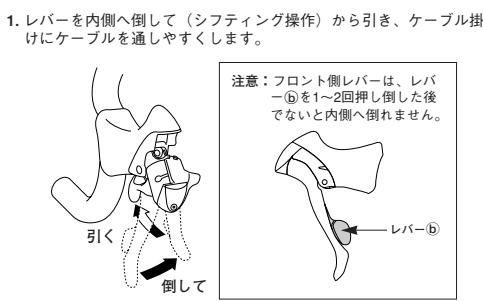
締め付けトルク:
6~8 N・m (60~80kgf・cm)

カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷を防ぐために締め過ぎないようにご注意ください。適切なトルク値に関しては完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

■ ブレーキケーブルの取付け

使用ケーブル
・インナーケーブル
(ステンレススティール)
・SLRアウターケーシング
ケーブルは、ハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さで使用してください。

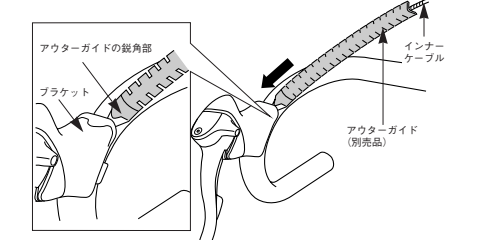
1. レバーを内側へ倒して (シフティング操作) から引き、ケーブル掛けにケーブルを通しやすくします。



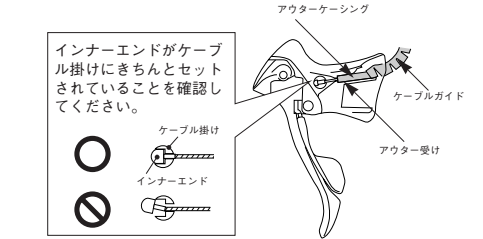
2. インナーケーブルを通します。



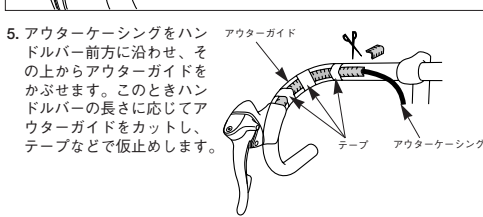
3. アウターガイドをインナーケーブルに取付け、その鋭角部をブラケットにセットします。
注意: インナーケーブルのグリスは拭き取らないこと。インナーケーブルにゴミ等を付着させないこと。



4. インナーケーブルにアウターケーシングをセットし、アウターガイドに沿ってブラケットにセットします。



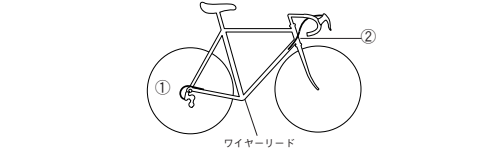
インナーエンドがケーブル掛けにきちんとセットされていることを確認してください。



6. 最後にパーテブを巻きつけます。

■ シフティングケーブルの取付け

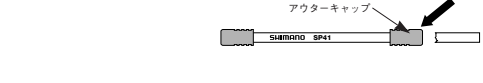
使用ケーブル
・インナーケーブル (ステンレス スチール)
・SP41シールドアウターケーシング (①)
・SP41アウターケーシング (②)



アウターケーブルの切断
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。



●リア側レバー

レバー B を7回以上押してから取付けを行います。



●フロント側レバー

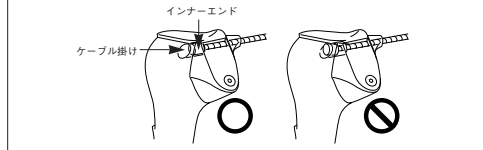
ブレーキレバーを握り、インナーケーブルをケーブル穴に通します。



シフティングケーブル穴にケーブル掛けが一致していない場合には、再度レバー B を押し、一致させてから、ケーブルを取付けてください。



確認
インナーエンドがケーブル掛けに確実にセットされていること。

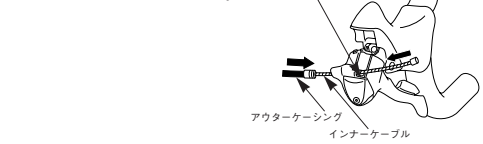


●フロント側レバー

レバー B を2~3回以上押してから取付けを行います。

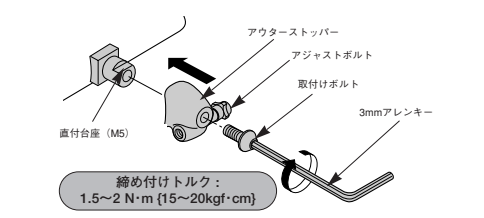


●ブレーキレバーを握り、インナーケーブルをケーブル穴に通します。



●アウターストッパー

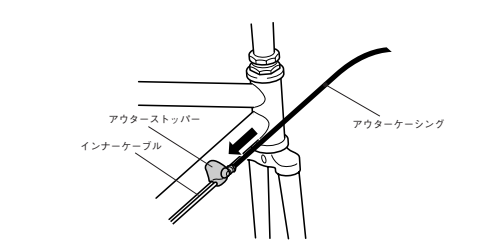
1. ダウンチューブにアウターストッパーを取付けます。



アジャストボルトを締め込んだ状態で取付けてください。アジャストボルトの調整シロは6回転です。

2. インナーケーブルを通し、アウターケーシングをセットします。

アウターケーシングはハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さのものを使用してください。



確認:

アウターケーシングがアウターストッパーにきちんとセットされていること。



■ブラケットカバーの交換

ブラケットカバーの各凸部がそれぞれブラケット体の窪みに合うようになっています。

